

R4 開始

08

しんじょうし
新庄市（山形県）～主な品目～
水稲

実施体制

新庄市、農業者、県普及課（指導・助言）
消費者グループ 等

面積情報

有機農業取組面積：71ha 耕地面積に占める割合：1.3 %

（令和3年度時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積（有機JAS認証面積）の拡大 R4年度 11.4 ha → R10年度 19.4 ha
 有機農産物の販売数量の拡大 R4年度 33 t → R10年度 47 t
 有機農業に取り組む農業者数の増加 R4年度 3人 → R10年度 5人

2 有機農業を拡大していく上での課題

・有機農業に関心を持つ農業者・消費者の輪が広がらず、面積・販売数量・取組人数すべてにおいて波及が広がらない。

3 課題に対する取組のポイント・成果

・有機農業者数の増加を目的として、年間を通して水稲・野菜等の有機栽培講座を実施。慣行農家向けの内容となっており、現状との比較を行いながら有機農業の知識を得ることができる。
 ・消費者向けの取組としては、学校給食への有機米の提供を実施。また、一般市民を対象とした「オーガニックフェス」を開催することにより、有機農産物への理解・魅力を深めてもらい、消費拡大へと繋げる。

【取組による定量的な成果】

給食導入 R3：0回 → R5：1回

※市内全小・中学校、義務教育学校（小中一貫校）にて実施。

拡大をはばむ雑草の紹介

・コナギ（6月）

【対策】

除草機による除草を行う。



除草機による除草作業

ポイントとなる導入技術

・秋耕の実施により翌年度作付に向けた土づくりを有効的に行うことがポイント。
 ・腐熟した有機物を含む土づくりを行うことで、より効果的な有機栽培が行える。



秋耕の実施

4 主な取組内容

①生産

- ・有機農業指導員や先進的農家を招待した新規参入者向け研修会の開催。
- ・土づくり、栽培方法等に関する技術講習会の開催。

②加工・流通

- ・加工から流通を見据えた商品開発に向けた検討会を実施。
- ・加工食品製造に精通した講師を招き、流通の角度から商品開発を行う。

③消費

- ・消費拡大を目指し、一般消費者の有機農業に対する理解を深めるイベントを実施。（R5開催）「オーガニックフェス」有機農業に関する映画上映、トークショー、有機食材を使用した調理・試食。
- ・学校給食への提供数を増加させ、子どもたちに「食育」を通して有機農業について理解を深めてもらう。



▲消費者向け企画「オーガニックフェス」の開催



▲学校給食への有機米の提供